

# 福島民報

2020年3月11日(水)

## FMポコ、アポロ、MTS&プラン 災害時の電源確保協定



協定を交わす(左から)  
相良、鈴木、門馬の各氏

「FMポコ」を運営する福島コミュニティ放送(福島市)、ガスや電気の供給などを手

掛けるアポログループ(同)、FM機器の販売などを行うMTS&プランニング(同)の三社は十日、災害時の電源確保に関する連携協定を結んだ。

MTS&プランニングの自動起動式ガス発電機を福島コミュニティ放送のスタジオ、送信所、中継局の三カ所に整備し、災害発生時にラジオ放送で生活情報を提供する。発電機は停電時

に自動で起動する。MTS&プランニングが発電機のメンテナンス、アポログループが燃料のプロパンガス供給を担う。

協定締結式は十日、福島市のパセナカミッセで行われた。福島コミュニティ放送の鈴木一海社長、アポログループの相良元章社長、MTS&プランニングの門馬敬社長が協定書に調印した。

鈴木社長は「災害時

にも迅速に情報を提供し、住民の皆さんの命を守るための放送を行っていく」と語った。